

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 16

2009年5月19日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は 橋本岳研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「JDreamⅡ研修会（静岡）」のご案内
2. 「静岡大学創造科学技術大学院第一回研究フォーラム」のご案内
3. 「PCTセミナー（浜松）」を開催します
4. 新・実用化開発支援制度「A-STEP」公募説明会を開催します
5. 「静岡大学生物産業創出推進拠点 第20回研究会」を開催します
6. 創立60周年記念「静大フェスタ」のご案内
7. 「静岡大学との連携による新技術説明会」を開催します
8. 「テクノサロン浜松 研究・開発成果発表会」で発表します
9. 「JDreamⅡ研修会（浜松）」のご案内
10. 「第8回産学官連携推進会議」に出展します
11. 「第3回ビジネスマッチング in Hamamatsu 2009」に出展します

---

1. 「JDreamⅡ研修会（静岡）」のご案内

日時 2009年5月22日（金）13：00～16：30  
会場 静岡市清水産業・情報プラザ（清水商工会議所）  
コース JDreamⅡ入門コース  
対象 初めてJDreamⅡをご利用いただく方  
参加費 無料  
詳細 [https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem\\_schedule.asp?m=5](https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem_schedule.asp?m=5)  
問合せ 科学技術振興機構（JST）名古屋デスク 担当 北川  
TEL 052-829-3751

---

2. 「静岡大学創造科学技術大学院第一回研究フォーラム」のご案内  
【光・ナノ世界への新たな挑戦 — 光を掴め！ —】

日時 2009年5月25日（月）13：30～15：30  
会場 静岡大学創造科学技術大学院 4階会議室  
内容 1) 新規シリサイド系材料によるナノ構造制御と光特性  
立岡浩一 准教授  
2) 多チャンネルファイバ・ブラッググレーティングに関する  
研究及びその分散補償器と多波長ファイバレーザーへの応用  
李 洪譜 准教授  
3) 新しい構造を持つ半導体レーザーにおける安定、不安定、  
カオスと制御 大坪順次 教授

参加費 無料  
申込方法 電話またはFAXで、①お名前 ②ご所属をご連絡下さい。  
問合せ 静岡大学創造科学技術大学院 担当 杉浦敏文  
TEL 053-478-1328 FAX 053-478-1359（創造大学院係）

---

3. 「PCT〔特許協力条約〕セミナー（浜松）」を開催します

日時 2009年5月26日(火) 13:30~16:00  
会場 アクトシティ浜松コンgresセンター44会議室  
主催 国立大学法人静岡大学、東海iNET  
有限責任中間法人大学技術移転協議会  
内容 1. 講演(PCT制度の概要ほか)  
2. 質疑応答及び意見交換  
講師 高橋 宣博 (WIPO国際協力部 カウンセラー)  
定員 50名(先着順)  
参加費 無料  
申込/詳細 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no68.html>  
申込締切 5月11日(月) 定員になり次第締切とさせていただきます。  
問合せ先 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

---

#### 4. 新・実用化開発支援制度「A-STEP」公募説明会を開催します

日時 2009年5月27日(水) 14:00~16:00  
会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ 第1研修室  
主催 JSTイノベーションサテライト静岡、東海iNET  
内容 ■JSTの実用化研究開発支援制度説明  
①研究成果最適展開支援事業「A-STEP」について  
②その他の支援制度について  
■個別相談会(当日受付)  
定員 80名  
参加費 無料  
申込方法 下記URLから、お申し込みください。  
申込/詳細 <https://www.jstshingi.jp/cgi-bin/a-step/0527-2/form.cgi>  
問合せ先 JSTイノベーションサテライト静岡 TEL 053-412-2511  
静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1708

---

#### 5. 「静岡大学生物産業創出推進拠点 第20回研究会」を開催します ～ 21世紀を見据えたバイオ産業 ～

日時 2009年5月29日(金) 13:30~16:50  
会場 静岡市産学交流センター B-nest7階 大会議室  
内容 1. 『「トウモロコシ」に基づく糖質産業の現状と将来』  
日本食品化工株式会社 顧問  
静岡大学IJRC客員教授 中久喜輝夫氏  
2. 『水澤化学の製品紹介——製品の用途およびその機能について』  
水澤化学工業株式会社 前知的財産室長 佐藤茂巳氏  
3. 『カンキツ果実における栄養・機能性成分の高含有化技術の開発』  
静岡大学農学部 共生バイオサイエンス学科 准教授 加藤雅也氏  
4. 「静岡大学農学部での人材育成事業紹介」  
①社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業委託  
「地域食品産業の安全と安心を支える  
実務型分析オペレータ育成のための再教育プログラム」  
②産学連携人材育成事業  
【産学人材育成パートナーシップ等プログラム開発・実証】  
「静岡農業ビジネス企業人育成講座」  
参加費 会員及び学生…無料 非会員…1,000円  
詳細 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no70.html>  
問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター  
静岡オフィス内・事務局 TEL 054-238-4631

6. 創立60周年記念「静大フェスタ」のご案内  
～いつの時代も“自由と未来”が息づく大学を目指して～

日時 2009年5月30日(土)、31日(日) 10:00~16:00  
会場 ツインメッセ静岡北館  
企画 教育ゾーン、研究ゾーン、社会連携ゾーン、国際ゾーン、  
男女共同参画ゾーン、静大ひろば、ステージゾーン  
入場料 無料  
詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/60th/about.html>  
問合せ 静岡大学広報室 TEL 054-238-5179

---

7. 「静岡大学との連携による新技術説明会」を開催します

日時 2009年6月5日(金) 10:00~16:30  
会場 科学技術振興機構 東京本部B1F JSTホール  
主催 静岡大学、科学技術振興機構(JST)  
内容  
1 超音波振動を用いたリニアボールガイドの摩擦制御による  
高速・高精度位置決め  
工学部 機械工学科 教授 大岩 孝彰  
2 真空対応の小型極微動XY薄型ステージとAFMへの応用  
工学部 機械工学科 准教授 岩田 太  
3 フィールド用携帯蛍光顕微鏡 自然界での微生物生態観察  
工学部 機械工学科 学術研究員 宮川 厚夫  
○静岡大学と共同研究を行っているパートナーから見た産学連携レビュー  
イノベーション共同研究センター 学術研究員 関 雄二  
4 表面プラズモンアンテナを備えた高S/N・高速の微弱光センサー  
電子工学研究所 新領域創成部門 教授 猪川 洋  
5 紫外から可視領域まで発光するモノリシックLED  
電子工学研究所 フォトニックデバイス分野 助教 中村 篤志  
6 高輝度化したマイクロ波による長寿命・高効率光源  
客員教授、名誉教授 神藤 正士  
7 安価かつ充放電特性に優れた電気二重層キャパシタ  
工学部 物質工学科 研究員 渡邊 真志  
8 ひとの視覚系が認識するデータを得られる時空間データ処理技術  
工学部 システム工学科 教授 相田 一夫  
9 ステレオ画像を用いた高精度リアルタイム3次元計測  
工学部 電気電子工学科 准教授 橋本 岳  
定員 各100名(申込登録制)  
参加費 無料  
申込/詳細 <http://jstshingi.jp/shizuoka/2009/>  
問合せ 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

---

8. 「テクノサロン浜松 研究・開発成果発表会」で発表します

本発表会では、株式会社ホンダソルテック久米智之氏による特別講演「ホンダが取り組む太陽電池事業について」のほか、県西部の大学や浜松工業技術支援センターの研究発表やポスターセッションも行われます。産学官の技術的交流を深める場として是非ご参加下さい。

日時 2009年6月8日(月) 10:00~16:45  
場所 アクトシティ浜松研修交流センター  
主催 静岡県、静岡大学 他

静大の発表内容

- ・『産業に直結するパワーエレクトロニクス  
—パワーエレクトロニクスとは何か、そして最近の産学連携事例—』  
工学部電気電子工学科 教授 野口 敏彦
- ・『次世代磁気浮上モータ「ベアリングレスモータ」の研究』  
工学部機械工学科 准教授 朝間 淳一
- ・『レーザーの宇宙工学への応用』  
工学部機械工学科 助教 松井 信
- ・『環境浄化とエネルギー生産 複合微生物系の活性を  
如何にして最大限引き出すか』  
工学部物質工学科 准教授 二又 裕之

参加費 無料

申込/詳細 [http://www.iri.pref.shizuoka.jp/news/news\\_event.php?U=65](http://www.iri.pref.shizuoka.jp/news/news_event.php?U=65)

問合せ先 浜松工業技術支援センター 技術支援担当 鈴木・掛澤  
TEL 053-428-4152

---

9. 「JDreamⅡ研修会（浜松）」のご案内

日時 2009年6月18日（木）13:00～16:30  
会場 浜松市地域情報センター  
コース JDreamⅡ 入門コース  
対象 初めてJDreamⅡをご利用いただく方  
参加費 無料  
詳細 [https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem\\_schedule.asp?m=6](https://pr.jst.go.jp/order/JDream2sem/JDream2sem_schedule.asp?m=6)  
問合せ先 科学技術振興機構（JST）名古屋デスク 担当 北川  
TEL 052-829-3751

---

10. 「第8回産学官連携推進会議」に出展します

日時 2009年6月20日（土）9:00～18:30、21日（日）9:00～12:30  
会場 国立京都国際会館  
主催 内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、  
（社）日本経済団体連合会、日本学術会議  
入場料 無料  
詳細 <http://www.congre.co.jp/sangakukan/top.html>  
問合せ先 第8回産学官連携推進会議事務局 TEL 03-5216-5620

---

11. 「第3回ビジネスマッチング in Hamamatsu 2009」に出展します  
Go Challenge! ～“地球に優しく” 未来のために～

日時 2009年7月21～22日（21日10:00～17:00, 22日10:00～16:00）  
会場 浜松市総合産業会館（浜松市東区流通元町20-2）  
主催 浜松商工会議所 浜松信用金庫  
共催 遠州信用金庫 はましん経営塾  
主旨 地元中小企業にビジネスマッチングの「出会いの場」を提供し販路  
拡大・受注確保などのビジネスチャンスの機会創出を強力にバック  
アップします。また、大学・支援機関も参加し連携をいっそう強め、  
地元企業および地域の活性化推進を目的として開催します。  
今回は特に「環境」をテーマを絞り、当地区の優れたものづくりを  
PRします。展示参加数は、約130機関です。  
内容 展示商談会、出展企業個別商談会、販路開拓支援相談会、  
経営・技術相談会  
入場料 無料

## 《 静大ラボ紹介 -2- 》

工学部電気電子工学科 橋本岳研究室

静岡大学浜松キャンパスから駅前のアクトタワーまでの距離を測ろうとすればどうするか。多くはアクティブ方式といって光線を投影して反射光を計測するが、この2.7キロを往復するのは難しい。減衰して戻ってこないだろう。強力なレーザーでは危険である。アクトタワーに狙いをつけるのもなかなか難しい。

橋本先生の研究されているステレオ計測法はパッシブ方式だからそんな問題はない。といってもそれだけで片付くわけではない。通常ステレオ計測（視差法）は数十メートルが限度。そこで先生の研究する量子化誤差対策の技術が効く。おっとと、これ以上の技術的話を私がするのは危険、特許出願準備中なので。説明は、先生ご自身が書かれた（社）日本オプトメカトロニクス協会の「光技術コンタクト」誌 2009年、第47巻、第4号 '09, Vol. 47, No. 4, 通巻545をご覧ください。

(記：橋本誠一郎)

## 《 みんなのコラム 》

「特許制度は何のためにあるのか」ということを常々疑問に持ちながら仕事をしてきた。一見すると当たり前と思える発明ほど特許になると強く、特許庁審査官時代は「当たり前発明」の審査に辟易させられていた。どのような発明でも先行技術を見つけ出せねば拒絶できず、拒絶できなければ特許査定になってしまう。ずいぶん問題のある特許を世に出してしまったと自戒の念を持っている。資金力が豊富な大企業ほど「数打ち当たる」戦略を取り易く、特許制度は大企業に有利な制度ではないか、と疑問に思うこともあった。

大学や中小企業の場合、数少ない特許で成果を上げねばならず、大企業以上に特許戦略が重要である。特許があれば何とかなるわけではなく、特許のベースとなる技術が優れていて、かつその技術を展開できるコーディネーターがいて、初めて特許が生きてくる。小手先のテクニックに拘泥せず、技術の本質をとらえた知財戦略が展開できるように心がけたい。

(記：神谷直慈)

## 《 編集後記 》

静大生を対象とした「特許調査スタッフ育成セミナー」は、平成19年から始めて今年で3年目になります。静大限定の資格ですが、課題レポートによる審査で合格した学生に“特許調査スタッフ”認定証を授与し、特許情報検索を依頼する制度です。

今年はなんと入学して間もない1年生が応募してきました。

爽やかな風が心地よい静大キャンパスには、今、新しいことにチャレンジしようとする若い力があふれています。

\* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、[sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL053-478-1414

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —  
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,  
Shizuoka University. All rights reserved